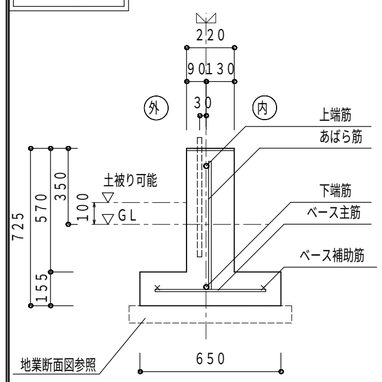
G3AG−65D

外壁線布基礎

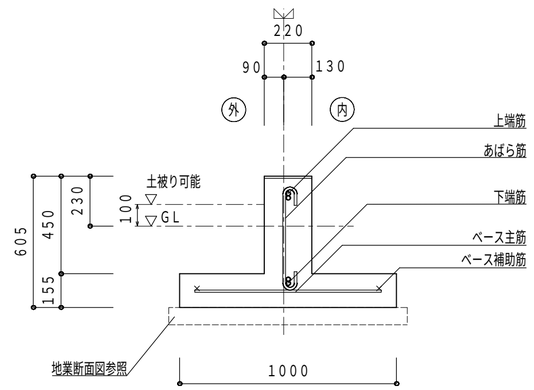
※立上りユニットは
全強度溶接とする



上 端 筋	1−D22（SD345）
下 端 筋	1−D22（SD345）
腹　　筋	−
あばら 筋	D13 @300
ベース主筋	D10 @300
ベース補助筋	2−D10

G3AG−100DCH1

外壁線布基礎



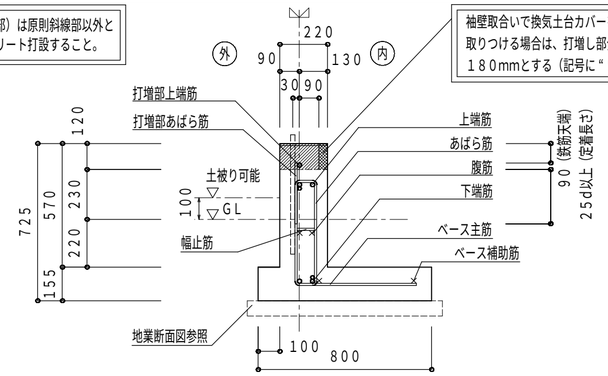
上 端 筋	2−D19（SD345）
下 端 筋	2−D19（SD345）
腹　　筋	−
あばら 筋	D13 @300
ベース主筋	D10 @250
ベース補助筋	2−D10

G3ATGE−80（S）DCH1F

外壁線偏心布基礎（袖壁取り合い部等）

打増部（斜線部）は原則斜線部以外と
一体でコンクリート打設すること。

袖壁取合いで換気土台カバーを
取りつける場合は、打増し部分の幅を
１８０mmとする（記号に“Ｓ”が付く）。

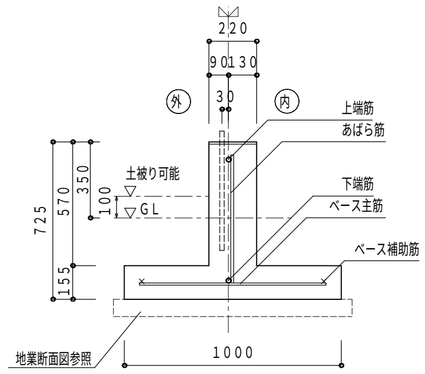


上 端 筋	2−D19（SD345）+D16
下 端 筋	2−D19（SD345）+D16
腹　　筋	2−D10
あばら 筋	□−D13 @200
幅 止 筋	D10 @1000
ベース主筋	D10 @200
ベース補助筋	2−D10
打増部上端筋	1−D13
打増部あばら筋	D10 @200

G3AG−100D

外壁線布基礎

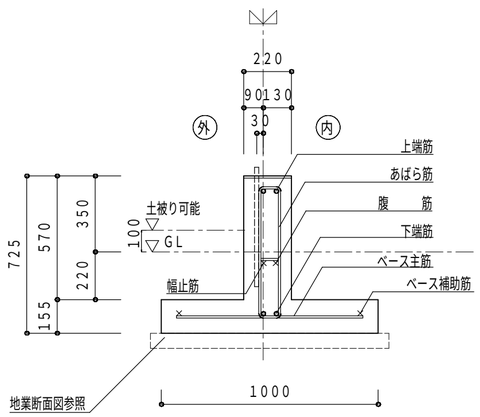
※立上りユニットは
全強度溶接とする



上 端 筋	1−D22（SD345）
下 端 筋	1−D22（SD345）
腹　　筋	−
あばら 筋	D13 @300
ベース主筋	D10 @250
ベース補助筋	2−D10

G3ATG−100D

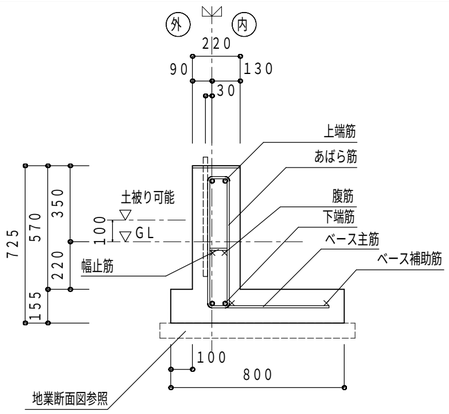
外壁線布基礎



上 端 筋	2−D19（SD345）
下 端 筋	2−D19（SD345）
腹　　筋	2−D10
あばら 筋	□−D10 @300
幅 止 筋	D10 @910
ベース主筋	D10 @250
ベース補助筋	2−D10

G3ATGE−80D

３階建部外壁線偏心布基礎



上 端 筋	2−D19（SD345）
下 端 筋	2−D19（SD345）
腹 筋（主 筋）	2−D10
あばら 筋	□−D13@200
幅 止 筋	D10@1000
ベース主筋	D10@200
ベース補助筋	2−D10

14287209308000　2026/5/18

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	大竹	一級建築士　297914号 小島　依子
その他の設計者		

企画製図	生産製図	ＩＣ
津坂	ハノイ（名古屋）	

工事名称	【集合分譲】Ｄ−ＲＯＯＭ春日井市 上条町一丁目ＰＪ　新築工事　＜Ａ棟＞
図面名称	各伏図

作成年月日

縮　尺

工事番号　1422670200002

図面番号　Ｓ−01

保管図面区分　【伏図】

Ver　26040

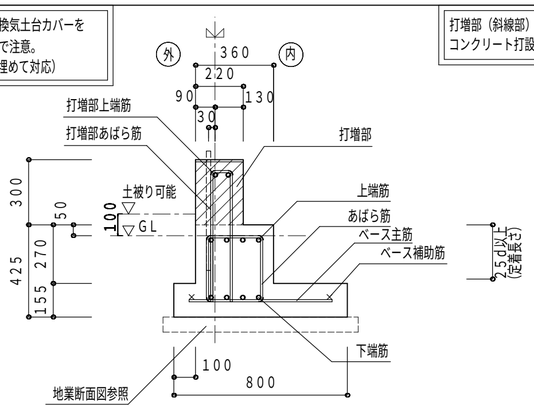
102139

G3ATGE−80DPF

外壁線偏心布基礎（ガレージ基礎打増し部）

袖壁取合いの場合、換気土台カバーを取りつけられないので注意。
（隙間をモルタルで埋めて対応）

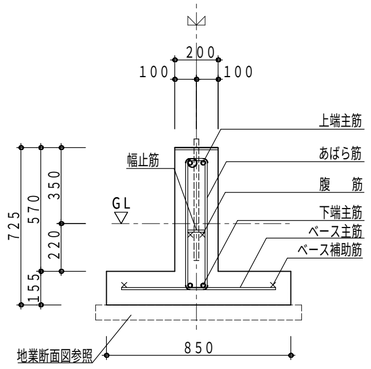
打増部（斜線部）は斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。



打増部上端筋	2−D16
打増部あばら筋	U−D10 @200
上 端 筋	4−D19 (SD345)
下 端 筋	4−D19 (SD345)
腹 筋（主 筋）	−
あばら 筋	□−D10@200
幅 止 筋	−
ベース主筋	D10@200
ベース補助筋	2−D10

GT3ATM−85D

3階建部間仕切布基礎（間仕切耐力壁線）

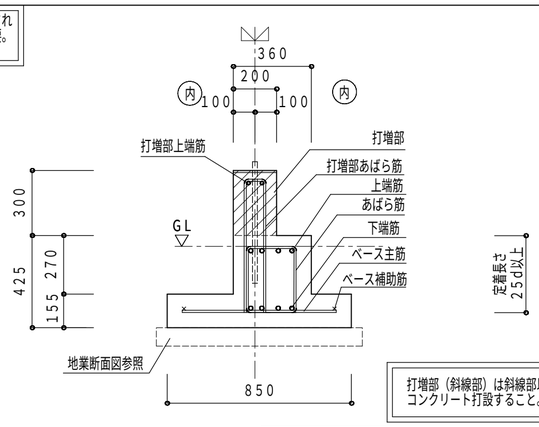


上 端 筋	2−D19 (SD345)
下 端 筋	2−D19 (SD345)
腹 筋	2−D10
あばら 筋	□−D10 @300
幅 止 筋	D10 @910
ベース主筋	D10 @250
ベース補助筋	2−D10

GT3ATM−85DPF

間仕切布基礎（ガレージ基礎打増し部）

基礎天端に鋼製束が配置される場合は、束の調整が必要。
（部品は同一部品）



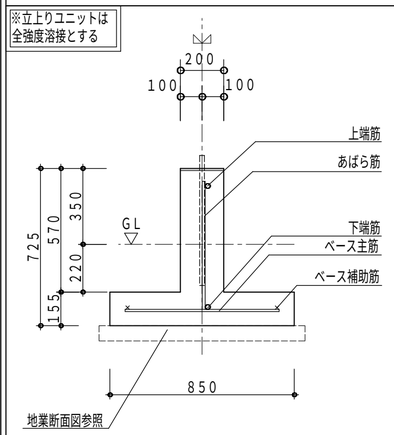
打増部（斜線部）は斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。

打増部上端筋	2−D16
打増部あばら筋	U−D10 @200
上 端 筋	4−D19 (SD345)
下 端 筋	4−D19 (SD345)
腹 筋	−
あばら 筋	□−D10 @200
幅 止 筋	−
ベース主筋	D10 @250
ベース補助筋	2−D10

GT3AM−85D

3階建部間仕切布基礎（間仕切耐力壁線）

※立上りユニットは全強度溶接とする

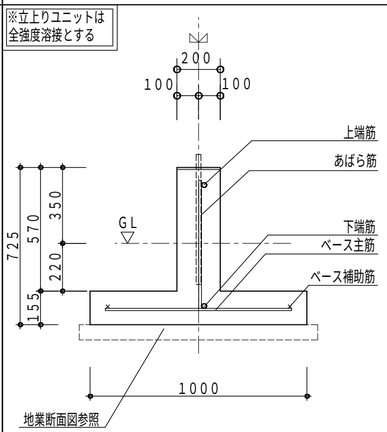


上 端 筋	1−D22 (SD345)
下 端 筋	1−D22 (SD345)
腹 筋	−
あばら 筋	D13@ 300
ベース主筋	D10@ 250
ベース補助筋	2−D10

GT3AM−100D

3階建部間仕切布基礎（界壁線）

※立上りユニットは全強度溶接とする

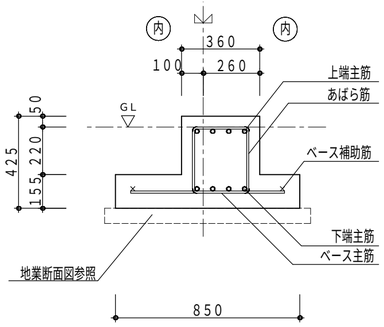


上 端 筋	1−D22 (SD345)
下 端 筋	1−D22 (SD345)
腹 筋	−
あばら 筋	D13@ 300
ベース主筋	D10@ 200
ベース補助筋	2−D10

GT3ATM−85DP

3階建部間仕切布基礎（間仕切耐力壁線）ガレージ基礎

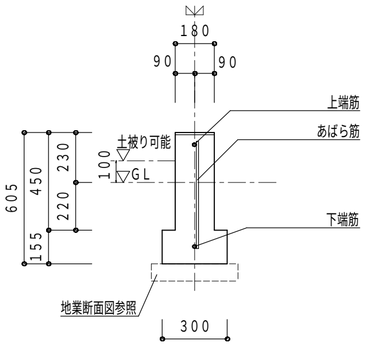
鋼製束が配置される場合は、基礎天端コテ仕上げとする。



上 端 筋	4−D19 (SD345)
下 端 筋	4−D19 (SD345)
腹 筋	−
あばら 筋	□−D10 @200
幅 止 筋	−
ベース主筋	D10 @250
ベース補助筋	2−D10

ARFS−30DC1

バルコニー腰壁部基礎



上 端 筋	1−D13
下 端 筋	1−D13
腹 筋	−
あばら 筋	D10 @300
ベース主筋	−
ベース補助筋	−

14287209308000 2026/5/18

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	大竹	一級建築士 297914号 小島 依子

その他の設計者

企画製図	生産製図	IC
津坂	ハノイ (名古屋)	

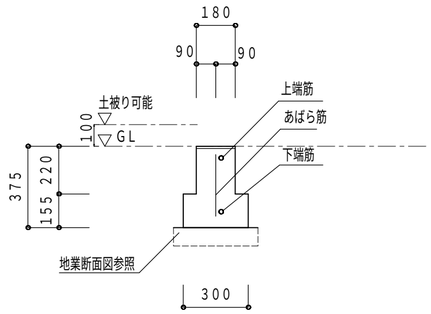
工事名称	【集合分譲】D−ROOM春日井市 上条町一丁目PJ 新築工事 ＜A棟＞
図面名称	各伏図

作成年月日	
縮尺	
工事番号	1422670200002
図面番号	S−02
保管図面区分	【伏図】

Ver 26040

AEF1−30ESD

エントランス部カット基礎

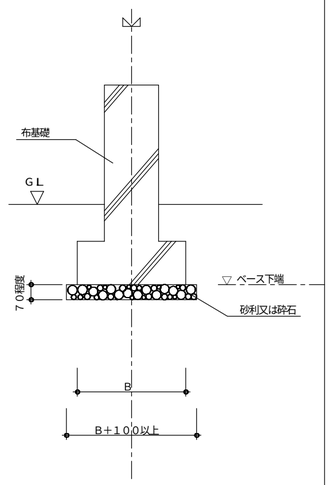


	異形鉄筋
上 端 筋	1−D16
下 端 筋	1−D16
腹　　筋	−
あばら 筋	D10 @300
ベース主筋	
ベース補助筋	

凡例

地業断面図　Ａ地盤、Ｂ地盤

標準基礎



14287209308000　2026/5/18

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

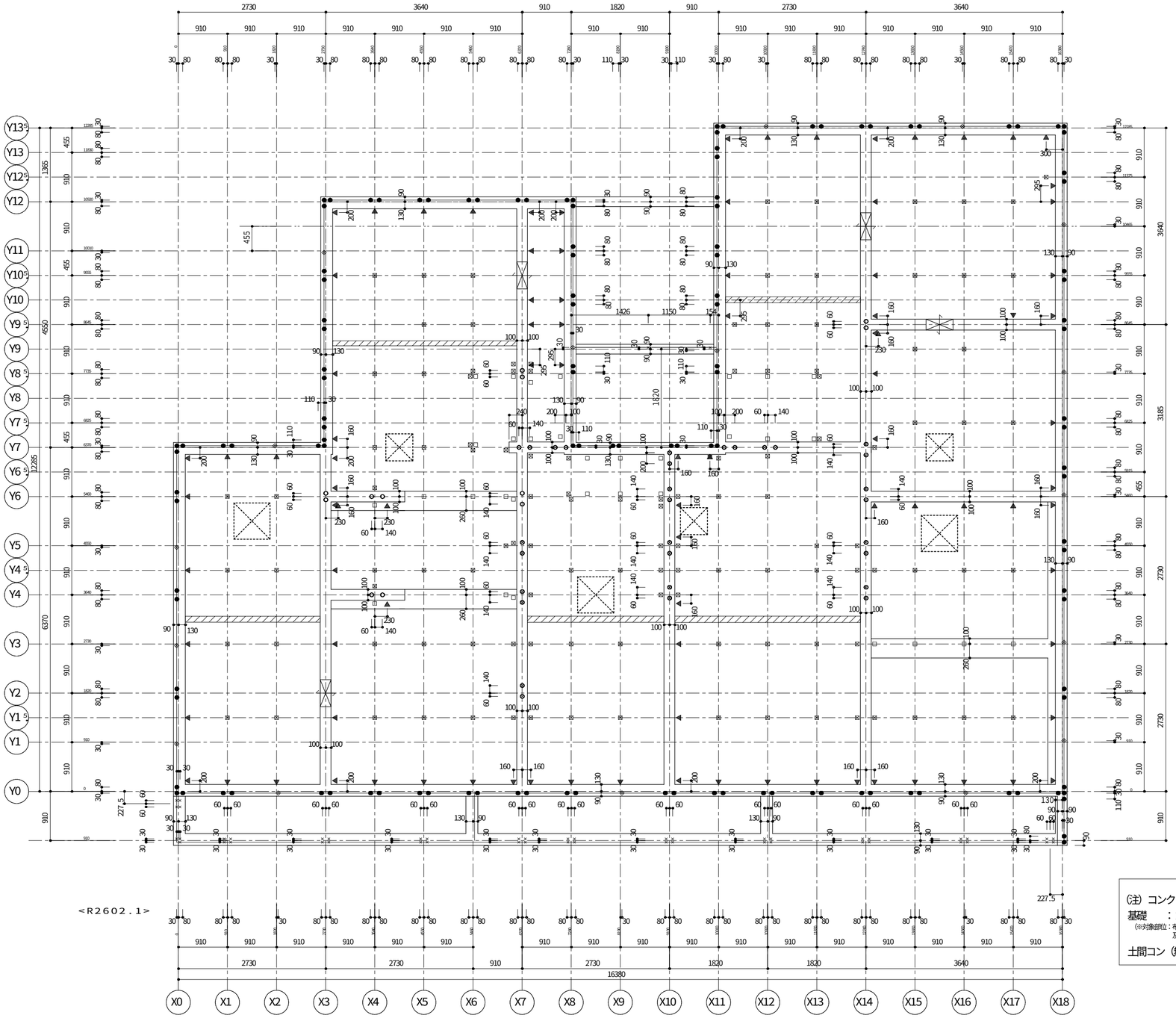
大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士事務所

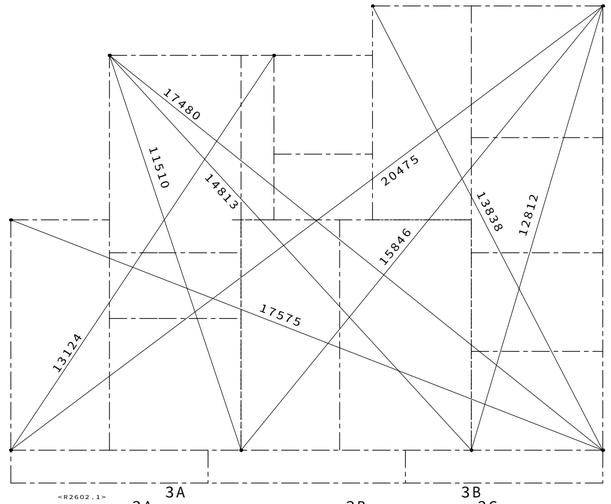
承認	照査	代表となる設計者		
	大竹	一級建築士　297914号 小島　依子		
その他の設計者		企画製図	生産製図	ＩＣ
		津坂	ハノイ (名古屋)	

工事名称	【集合分譲】Ｄ−ＲＯＯＭ春日井市 上条町一丁目ＰＪ　新築工事　＜Ａ棟＞	作成年月日	図面番号 Ｓ−03
図面名称	各伏図	縮　尺	保管図面区分 【伏図】
		工事番号 1422670200002	

Ver　26040　　102139



【基礎立上り・アンカー伏図】ＨＶ５２　Ｓ＝１／６０



【対角寸法図】ＨＶ０３　Ｓ＝１／１２０

（注）　対角寸法はモジュール芯における寸法とする。

対角寸法線

誘発目地

凡　例

アンカーボルト

- ● ＤＭ２０　Ⅰ型　Ｍ２０　Ｌ＝５５０　（出寸法５０）
- ○ ＤＭ１６　Ⅰ型　Ｍ１６　Ｌ＝５２０　（出寸法４５）
- ⊗ ＩＴ２２Ｓ　Ⅰ型　Ｍ２２　Ｌ＝６００（出寸法５０）
- × ＬＭ１２　Ｌ型　Ｍ１２　Ｌ＝３００　（出寸法３０）
- ◈ ＬＭ１６　Ｌ型　Ｍ１６　Ｌ＝４００　（出寸法４５）
  ※ＤＭ１６を代わりに用いても可

出寸法

▼ インサートナット　Ｍ－８

床下換気孔（丸型）　２００φ

床下換気孔（丸型）　１４０φ

床下貫通口　５００×２５０（２００）

※深基礎がある場合、
床下貫通口は全て５００×２００とすること。

スリーブ　▽

鋼製束　⊠ ＮＬＫ－４ＮＡ　■ ＮＬＫ－２３ＮＡ
□ ＮＬＫ－３ＮＡ

※　土間コン施工時、
腰壁・廊下柱などの部位は箱抜きを行うこと。

※　鋼製束記号末尾Ａ付きはコンクリート釘別仕切り

凡　例

㈱注）コンクリート設計基準強度

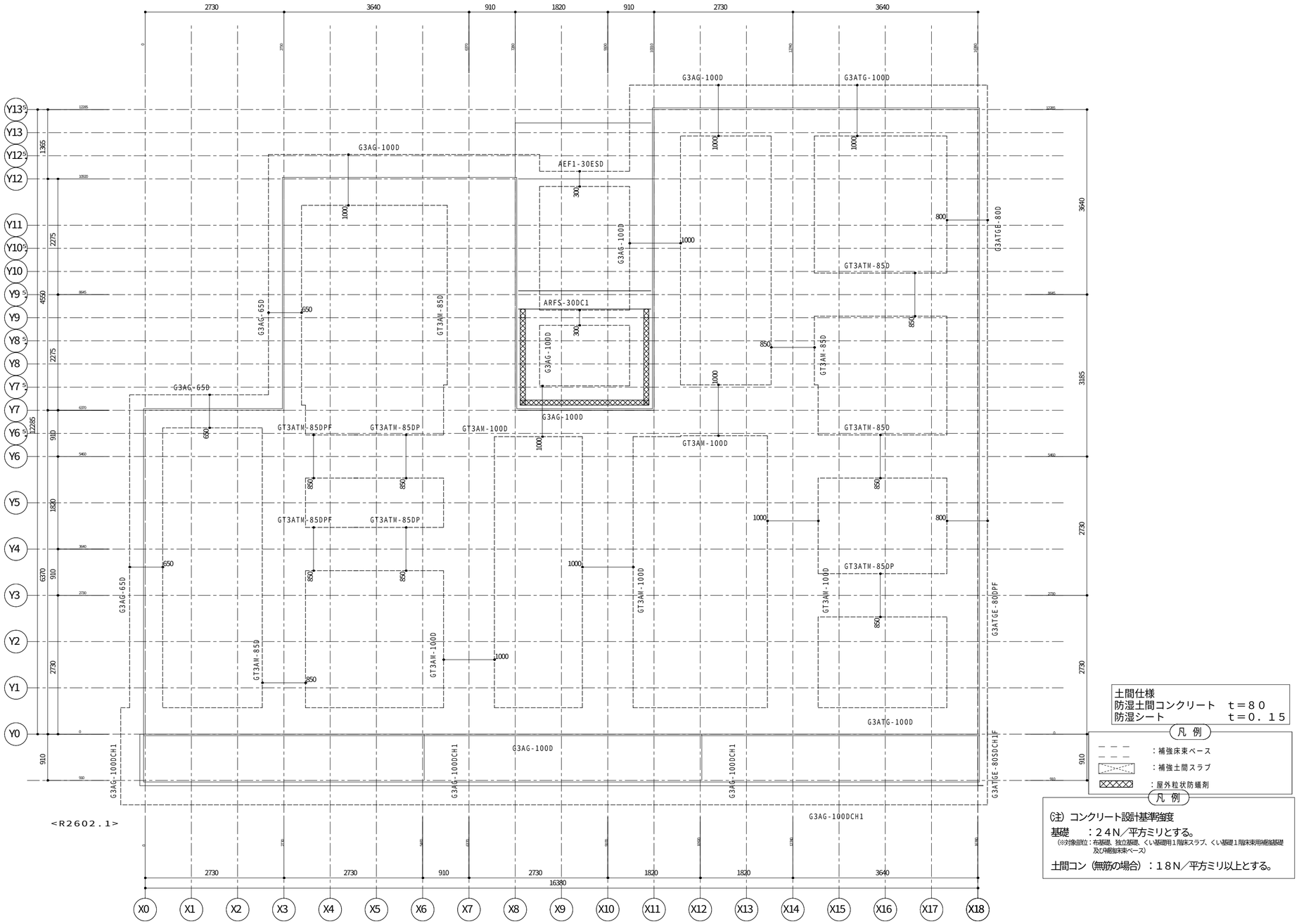
基礎　：２４Ｎ／平方ミリとする。
（※対象部位：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床束用補強基礎及び補強束ベース）

土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。

14287209308000　2026/5/18

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 中部集合住宅一級建築士事務所	承認	照査 大竹	代表となる設計者 一級建築士　297914号 小島　佐子	工事名称	【集合分譲】Ｄ－ＲＯＯＭ春日井市 上条町一丁目ＰＪ　新築工事　＜A棟＞	作成年月日 / 縮尺	図面番号 Ｓ－04
			その他の設計者		企画製図 津坂 / 生産製図 ハノイ（名古屋） / ＩＣ	図面名称	各伏図	工事番号 1422670200002	保管図面区分 【伏図】

Ver　26040　　102139



土間仕様
防湿土間コンクリート　ｔ＝８０
防湿シート　ｔ＝０．１５

凡 例
：補強床束ベース
：補強土間スラブ
：屋外粒状防蟻剤

凡 例
(注) コンクリート設計基準強度
基礎　：２４Ｎ／平方ミリとする。
（※対象部位：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床束用補強基礎及び補強束ベース）
土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。

【基礎ベース・土間伏図】ＨＶ５３　Ｓ＝１／６０

14287209308000　2026/5/18

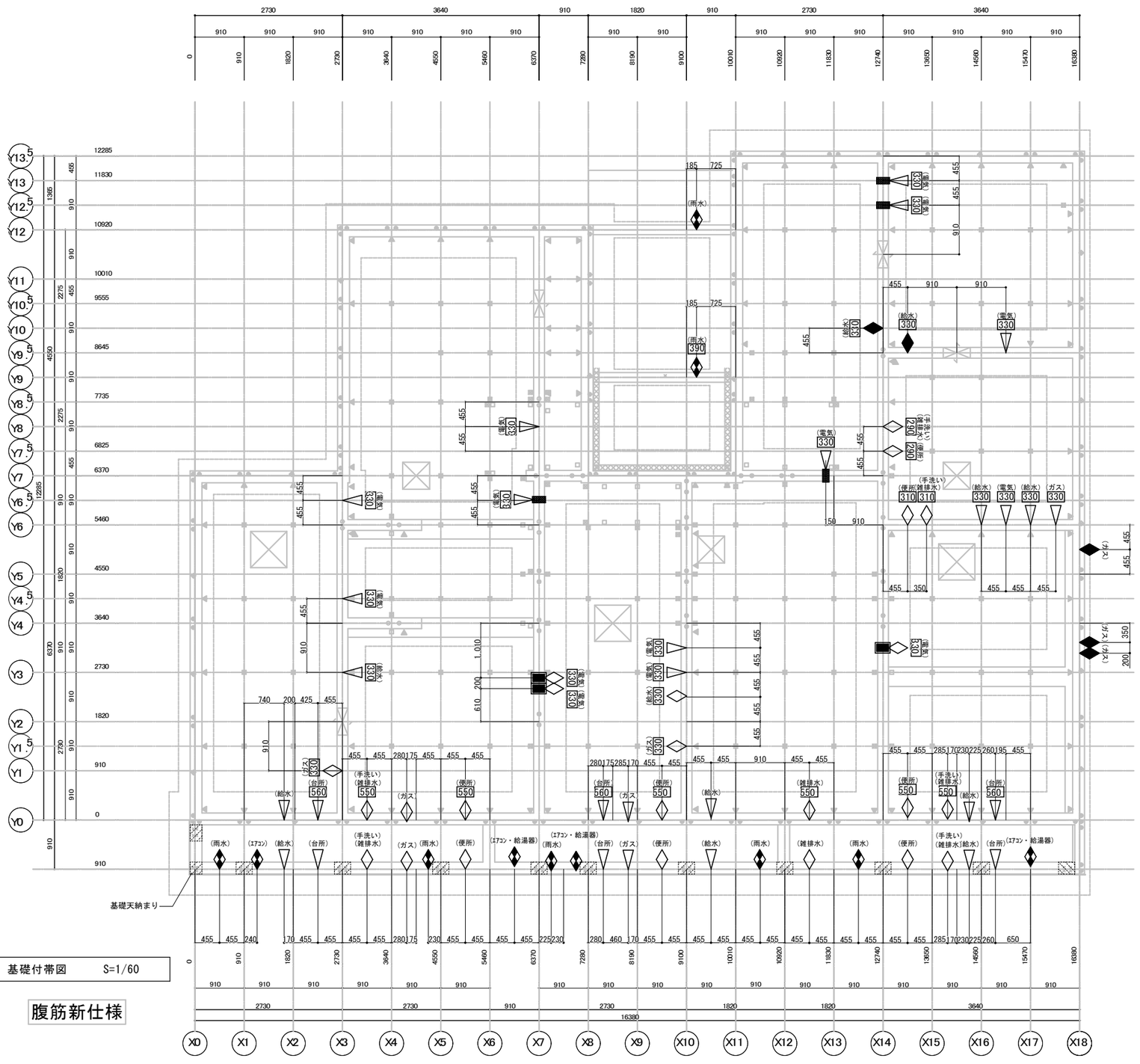
記事
※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社
中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	大竹	一級建築士　297914号 小島　依子
その他の設計者		企画製図：津坂　生産製図：ハノイ（名古屋）　ＩＣ

工事名称	【集合分譲】Ｄ－ＲＯＯＭ春日井市 上条町一丁目ＰＪ　新築工事　＜Ａ棟＞	作成年月日	図面番号 S-05-1
図面名称	各伏図	縮尺	保管図面区分 【伏図】
		工事番号 1422670200002	

Ver　26040　102139



あばら筋ピッチ@220の基礎部にφ125スリーブ設置する場合は
現場にてあばら筋ピッチの調整が必要となります。（補強筋要）

スリーブ位置寸法は計画寸法です。
現場にて確認・調整をお願いいたします。

50kN/㎡基礎

凡例

（注）コンクリート設計基準強度
基礎　：２４Ｎ／平方ミリとする。
（※対象部位：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、
くい基礎１階床束用補強基礎及び補強床束ベース）
土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。

凡例

アンカーボルト
● DM16 I型 M16 L=520 （出寸法45 ※玄関独立柱部 標準基礎 30 C1基礎 45）
× LM12 L型 M12 L=300 （出寸法30 ※緩旋階段部40）
▪ M8 L=300 （出寸法100）
⊕ DHM16 I型 M16 L=600 （出寸法45 ※深基礎300DNのみ）
◈ LM16 L型 M16 L=400 （出寸法45）
※DM16を代わりに用いても可
床下換気孔（丸型） 200φ
床下貫通口 500×300 / 600×200 / 400×200
スリーブ
鋼製束 NLK-3N / NLK-23N / NLK-4N
大引固定金物 インサートナット

＜配管スリーブ凡例＞
・◇－１２５φ（補強筋有り）
・▽－１００φ（補強筋有り）
・◆－　７５φ（補強筋有り）
・◆－　５０φ（補強筋無し）
・□ 内数値は、本体基礎天端から スリーブ管底までの寸法とする。
※特記のないスリーブ管底レベルは基礎ベース天とする。
■：区画貫通処理 耐火オオスリーブ IRNS-100 IRNS-75 IRNS-50
■：区画貫通処理 耐火オオスリーブ IRNS-125
⊗：VU管（補強土間用） @910以下

※アンカーボルト位置は
基礎伏図参照とする

記事
※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

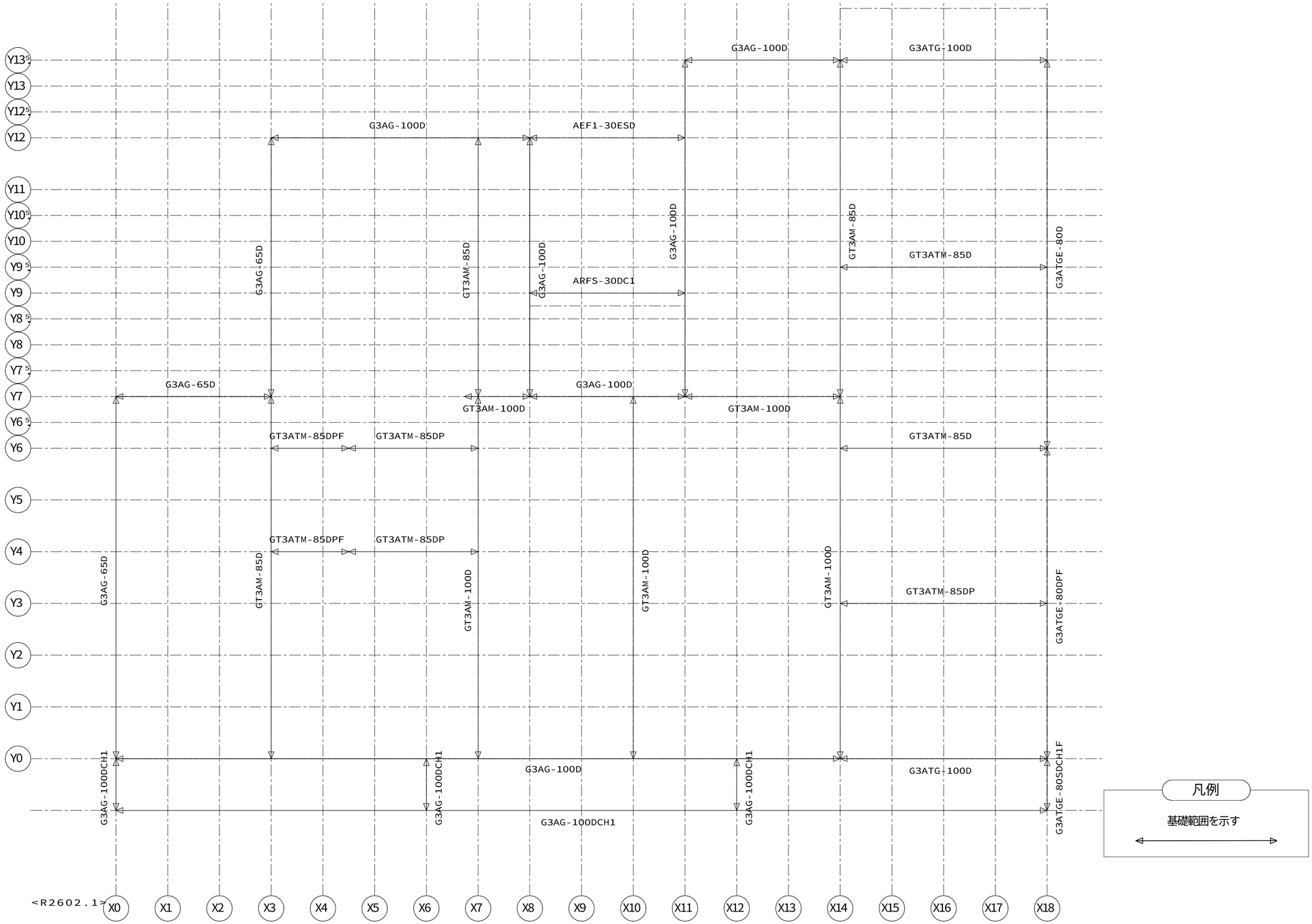
投入図
2026年　11月　20日

大和ハウス工業株式会社
中部集合住宅一級建築士事務所

承認 管理建築士	照査	代表となる設計者		
亀山	大竹	一級建築士 297914号 小島 依子		
その他の設計者		企画製図	生産製図	ＬＣ
		津坂		

工事名称	【集合分譲】D-ROOM春日井市上条町 一丁目PJ　新築工事＜A棟＞
図面名称	基礎付帯図

作成年月日	2026.11.20
縮尺	S=1/60
工事番号	1422670200002
図面番号	87-20930 S-05-2
保管図面区分	伏図



【基礎入力図】ＨＶ５１　Ｓ＝１／５０

14287209308000　2026/5/18

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 中部集合住宅一級建築士事務所	承認 / 照査 大竹 / その他の設計者	代表となる設計者 一級建築士 297914号 小島 依子 / 企画製図 津坂 / 生産製図 ハノイ(名古屋) / ＩＣ	工事名称	【集合分譲】Ｄ－ＲＯＯＭ春日井市 上条町一丁目ＰＪ　新築工事　＜Ａ棟＞	作成年月日 / 縮尺 / 工事番号 1422670200002	図面番号 Ｓ－06 / 保管図面区分 【伏図】
					図面名称	各伏図		

Ver　26040　102139